

平成 28 年度中学生読書サポーター養成講座報告

講座の目的 図書館の役割や読書の楽しさ・大切さを学び、それを友だちや家族など周囲の人に伝える活動をする「読書サポーター」になることを目指します。

参加対象者 市内各中学校の図書(文化)委員会の委員長 13名

日時・場所 平成29年2月25日(土) 9:40～15:50 宗像ユリックス 会議室1・2

講座内容

開講式

自己紹介・交流

お互いを知るための交流。まずは2人組で自己紹介。学校名や名前その他、“マイブーム”などについて語り合ったのち、相手のことを全員の前で紹介。



図書館の役割について知ろう

図書館がどんなところなのか、その役割や仕事内容などについて、市民図書館の司書から説明。

作家に手紙を書こう～作家はやみねかおるさんへのメッセージ～

中学生に絶大な人気を誇る作家、はやみねかおるさんへ、一人一人がメッセージを書いて、1枚の色紙にまとめました。



館内見学～ユリックス図書館ってどんなところ？～

日頃は入れない閉架書庫などを司書が案内。

ビブリオバトルに挑戦！

・講師：山本みづほ先生(元長崎県中学校教諭)

ビブリオバトルは、好きな本を互いに紹介しあう、本を通したコミュニケーションゲーム。全員、お気に入りの本を1冊持ち寄って紹介。制限時間は5分間。発表を聞いた後で、読みたくなった本に1票を投じて“チャンプ本”が決定。



閉講式

中学生読書サポーターの今後について

読書サポーターは、この講座で体験したことを参考に、各学校で読書を広める活動を行います。そして、次年度8月2日(水)に再度集まり、互いにどんな活動をしたか、報告し合う予定です。

講座の感想(生徒アンケートから抜粋)

いつも読んでいる、はやみねかおるさんに手紙を書くことは とても緊張した。だが、いい機会なのでたくさん書いた。/ 作家に手紙を書くことをしなかったのが、貴重な体験ができました。他の人とも話をしたりして交流ができたのでよかったです。/ 5分間という時間で本を紹介するのは大変だったけれど、けっこう自分なりに言えたからよかった。他の人が紹介した本を読んでみたい。/ 5分間は長い時間だなあと感じていたけれど、本の熱意を伝えるには短かったです。/ 私達の学年は本を読む人が少ないので、ビブリオバトルをして、いろんな人に自分の好きな本を見つけてもらいたい。/ 私は学校で図書室クイズをやってみたいです。理由は、図書室についてたくさん知ってもらい、利用者を増やしていきたいからです。



読書サポーター認定証を手に自覚も新たな生徒たち。